

22-23
24-25

No. *24*

ゲブレイとブリユー・ベル

岡本綺堂



六月号の本誌に正字白鳥氏が「若葉の頃」
 とよのを書かれて、ロンドンのテームス河
 の上流に住み、ロンドンに五六月の
 頃を送つたが、ロンドンの郊外は実に幽静な
 好い。おれに比べると、東京の郊外とは一
 種、工場町と、^も親があつて、彼とは全然比
 較にちがひ。 ^{ハイ}
 それにつけて、^ハ子供事を思ひ出し、^ハ己
 己しがロンドンに滞在して、^{初夏の頃}に、^ハテーム
 スのパンクに於けるブリユー・ベル問題とい
 ちのが起つた。テームス河の堤には、ブリ
 ュールと子草花——口を、桔梗に似て、^ハお
 花心あり。——が咲きみられて、^ハ近來そ
 れを、おみに、^ハ批り取り者があつた。恐らく、^ハこれ

野生の

10 20 三省堂原稿紙 E

は470レイが盗み出し、
 5)と云ふのこゝろに
 9)といふが、ロンドン
 の8)といふは、その現像
 就ては、これを取締り
 8)みわりに採取し、その
 子葉がロンドン市會に
 提出され、ロンドン市
 民の公憤に反對論が
 やかましくあつた。さ
 して、テムルス河畔の
 散步者に取つた、
 甚か迷惑であらう。朝
 に夕に、あつたは日曜
 日に、山の河畔を散
 歩する人々が、可憐
 な草花の一枚を採ると、
 忽ちには科料に處せ
 られる。これは、殺罪
 となし、無罪流しと云
 ふ。殊に、魚卵を採ると、
 捕人の為には、罰則さ
 らず、捕人は、
 流を通り越して、磯に
 立ち寄り、盗む者は、
 捕らへられ、罰金に
 處せられ、好い。それ
 は、プリエール。こ
 れが根絶し、あつた
 多喜が草花の

3.

No.

種子の十万二十万と定つたところを
 ものてあら。我がロンドン市には
 全見するのたふし、工校書が、新聞紙上
 には、幾々ありはれて来た。この
 此の問の解決し、この問に、
 イへ旅行して、その成行は、
 いか、^海ロンドンへ帰つたか、
 九、^海あつた。此の材料は、
 女とふあつた。殆ど箱草にも、
 生の草花問に、^海と、
 りに外国人の氣風も、
 東京の郊外に、
 野に、
 々に、
 人に、
 採取させ、
 二浦、
 和にも、
 草花、
 國、

No. _____

4.

あ
の
文
明
國
人
の
あ
ら
か
り
詩
情
に
富
み
あ
ら
か
り
の
観
る
よ
う
な
事
を

10
20
三省堂原稿紙E